秋田県立大学 図書館だより



No. 13 2006.7

》》》》》》》目次《《《《《《《《《《《

私の愛読書

図書・情報セン	ター長 森	宏一1	
参考文献の見方/電子	情報を利用する	る時の注意点)
電子ジャーナル活用法	: Springer L	.ink4	Į
雑誌の製本作業につい	て/夏期休業期	期間中の図書館利用について 6	;



私の愛読書

図書・情報センター長 森 宏 一 (生物資源科学部生物生産科学科教授)

「図書館だより」に寄稿を頼まれて、読書について考えてみたところ、すぐに思いついたのが今の学生諸氏のことである。彼らが読書について人に話すのはきっと入学試験や就職活動等の面接で聞かれることの一つで趣味は何かという質問の回答の一つとしてであろう。常套の質問であるようで、聞かれた方はあらかじめ練習しているのですらすらと答えるのだが、最近面接をしていて感じることに、趣味に読書という答えが少なくなったように思う。本を読む時間がないのだろうか。最も私のように読書にふけって浪人するというような読書は勧められないが、

それにしてもあまり読んでいないのではないかと思う。パソコンでホームページを読んだり、ブログやチャットで会話したり、携帯でメールのやりとりをしていることから考えると、別に活字が苦手とは思えない。ひょっとしたら読書と言うことを知らないのかな等と思ってしまう。最近の学生は本を買わなくなったようにも思う。講義で資料を配ると、必ず資料のより一層の充実をと「学生の授業アンケート」に書いてくる。少しは自分で努力しろと言いたいが、どうも追加の資料を手に入れることや、コピーや友人のノートを写すことで、本を読んだ気持ち

になれるようだ。自分の学生時代から見ても、 今の学生の方が経済的に困窮であるとは思えない。携帯に払うぐらいなら一冊くらい買えよと 言ったことがあるが、図書館に行ってコピーすれば良いと言われたこともある。自分の学生時代にはこれほど簡単にコピーできなかったのでうらやましくも思うが、自分の本というのも勉強するときの気分が違うと思うのだが通じない。確かに買わないで済ませられることはその通りで、それ以上話が進まないのが残念である。

さて自分はどんな本をこれまで読んだのだろ うかと振り返ってみると、あまり自慢できるよ うな本を読んでいないことに気がついた。ただ しそのことで自分を恥じているというわけでは ない。その昔、私は推理小説を読むのが好きで あった。読み始めたきっかけは別に理由があっ たわけではなかった。親が昔読んでいた本が本 棚にあり、それを興味本位で読み始めた結果で 理由といえばこんなたわいないものが理由かも しれない。今考えるといわゆる勉強に関する本 よりも推理小説のほうが遥かに読んだ本の数は 多い。最初に読んだ本が何か記憶は定かでない が、小学校高学年の頃に怪人二十面相、怪盗ル パン、あるいはシャーロック・ホームズの全集 を夢中で読んでいたのを思い出す。中学に入る と、エラリー・クイン、江戸川乱歩、横溝正史 から始まり、果ては早川書房のミステリー文庫 を片っ端から読んでいた。確か創刊当初は隔週 でそのうち月刊になったと思うがエラリー・ク インズ・ミステリー・マガジンという雑誌の熱 心な愛読者でもあった。また親戚に推理小説が 好きな夫婦がいて情報交換や本の貸し借りまで したものである。特にジャンルは意識しなかっ たが、ハードボイルドや本格物と言われる分野 のが好きだった。

私の読んだ作者はどちらかというと日本より 海外の方が多い。始めに読んだ本が江戸川乱歩 や横溝正史だったせいかもしれない。彼らの題材が「おどろおどろしい」ものだったためか、 古い因習にこだわったものだったためかどうも 自分に合わないなと思ったものである。海外物はその意味ではからっとしていた。

最も、私の読書はあまり褒められたものではない。あまりよく読むので、大学入試に失敗し、浪人中は読書禁止(ただし推理小説のこと)と相成った。それはそうだ。参考書より推理小説では何処を受けても受かるはずはない。浪人中の勉強は推理小説読みたさみたいなものである。当然、大学入試に合格すると読書の再開となった。最も入学した大学では教養時代の成績で進級する学部や学科が決まることもあり、落第しないようにするため参考書を買う必要に迫られ、そのため好きな読書を削らざるを得ず、読むペースはがた落ちで、従って購入する本も厳選して読んでいたことを思い出す。

買い貯めた推理小説は何百冊あったか確かではないが、ほとんどが文庫本なので数の割には場所をとらなかった。しかし、秋田に来るときには、ボランティア活動しているグループ(確か鍵っ子のたまり場を運営していたと記憶している。)が運営費捻出のためにフリーマーケットに出品する品物を募集しているのを見かけ、全てを寄付してきたので、今は何処にも推理小説の面影はない。不思議な物で処分すると、お陰で記憶まで削除された。本は目の前にあってこそ本なのだと改めて認識させられた。乱読を進めるわけではないが、本に親しむ一つの道であることには違いない。

最近は寝る前に布団の中でこれも好きな「鬼平」を読み直しているが、昔のようにはいかず、常に睡魔が打ち勝ち昨日読んだところがどこまでだったか思い出すのに一苦労である。

参考文献の見方

学術的内容の図書・雑誌論文には、それらを書くために用いた参考文献の記載があります。 それらの文献にあたることによって、自分の探している主題の情報を広く集めることができます。 以下は参考文献の代表的な記述例です。

(1)和図書

<u>E司正弘</u> 『伝熱工学』 (東京大学機械工学 6) 東京大学出版会 1995年 書名 → 当日 → 出版社 → 出版年

(2) 洋図書





(3) 和雑誌

大野秀敏 「縮小する都市のためのデザイン」 『新建築』 81巻 7 号、 2006年、 46-51頁

→ 執筆者 → 論題 → 雑誌名 → 掲載巻 → 出版年 → 掲載ページ

(4) 洋雑誌



- *雑誌名や会議名は省略形が使用されていることが多いので、所蔵先を探す検索時は注意が必要です。
- *欧文の書誌情報が複数列挙されている場合、同じタイトルの掲載雑誌名を省略して示す、ibid. (「同上」の意)というラテン語がよく使われます。

電子情報を利用する時の注意点

① 情報の質を見極めよう

Google などを利用すると簡単に電子情報を得ることができます。しかし、自分が必要とする結果にたどり着くには時間がかかります。また、あふれる情報の中から、利用者自身がその価値を判断し選択していくことが要求されます。

② 利用時の注意点

<1> 著作権

電子情報にも図書や雑誌と同様に、著作権があります。ダウンロードした記事を著作権者の同意なしに複製(コピー)もしくは文章を無断借用することは、法律で禁止されています。

< 2 > 禁止事項

個人利用以外の目的、または研究・教育以外の目的で利用すること。

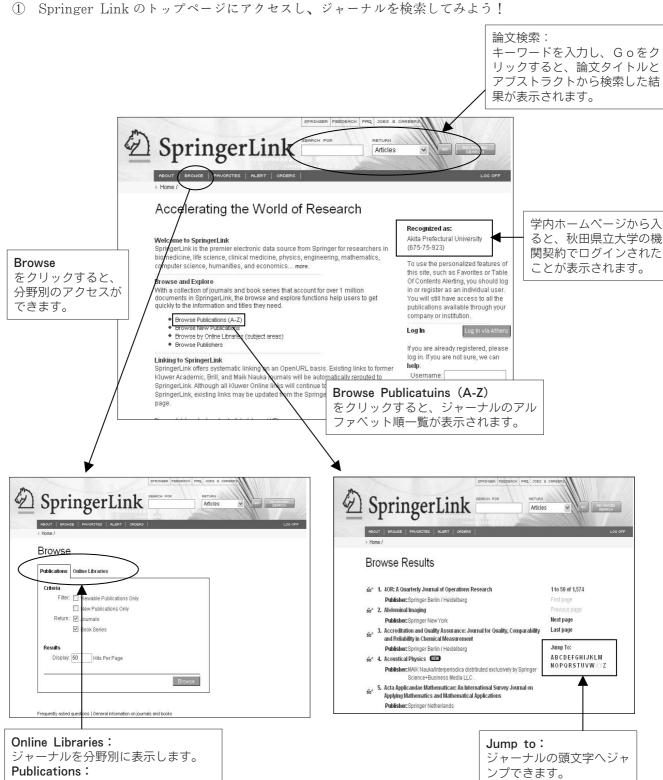
大量データをダウンロードすること。 他者に複製配布、送信すること。 内容を改編すること。

違反した場合、大学全体にペナルティーが 課せられ利用停止になることがあります。 ルールを守って積極的に活用しましょう!

電子ジャーナル活用法:Springer Link

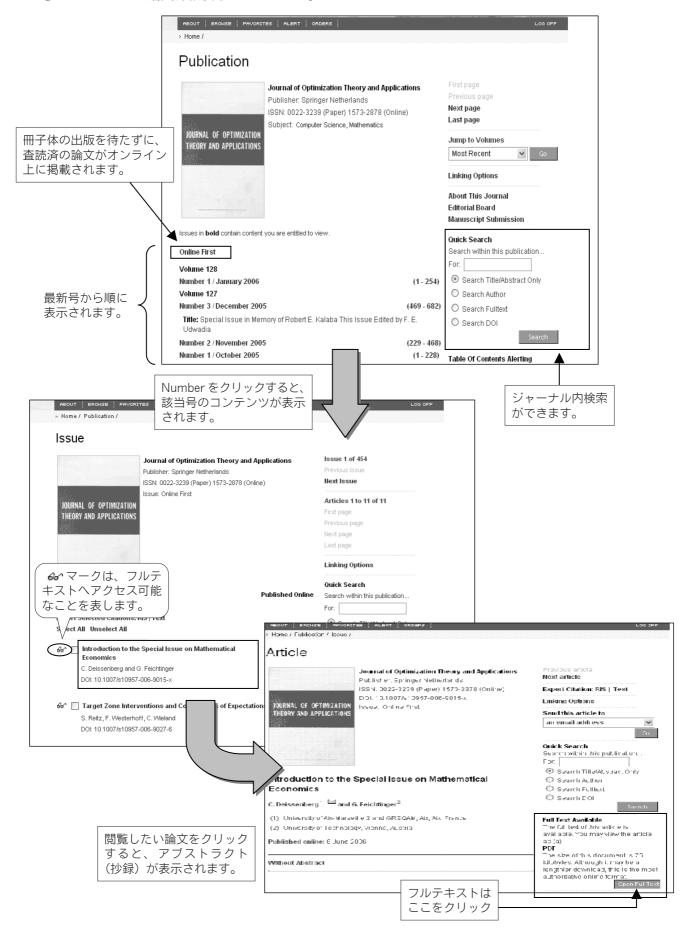
Springer Link は、ドイツの Springer-Verlag 社および関連グループが提供するオンラインサイト

主に理工医系のデーターベースで、約1200タイトルの学術雑誌にアクセス可能です。 学内からのアクセスに限り、Full Text (論文全体)を表示させることができます。



ジャーナルのアルファベット順一覧が 表示されます。(右図 Browse Results)

② ジャーナルの論文詳細検索をしてみよう。





雑誌の製本作業について

夏季休業期間中、雑誌の製本作業を行います。

今回対象となるのは、平成15年度に発行された未製本の学術雑誌です。詳しい日程が決まり次第、掲示等で周知しますのでご注意ください。

作業期間中の閲覧・貸出はできませんが、必要な論文のタイトル・巻号等がはっきりしている場合は、 カウンターにご相談ください。

夏季休業期間中の図書館利用について

夏季休業期間は 8/1 (火) $\sim 9/30$ (土) です。 期間中は開館時間および学生、院生への貸出冊数が変更となります

	貸出	冊数	貸出期間			
	通常期 休業期間中		図書/音声資料	逐次刊行物	逐次刊行物 (最新号)	
学 生	5冊まで	10冊まで	2週間以内	3日以内	1日以内	
院 生	10冊まで	15冊まで	2週間以内	3日以内	1日以内	
教 職 員	15冊まで	15冊まで	1ヶ月以内	1週間以内	1日以内	

*学生・院生は、7月14日(金)~9月22日(金)に貸出した図書、音声資料の返却期限日が10月6日(金)となります。

2006年7月							
	月	火	水	木	金	土	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
31	31						

2006年8月							
	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			
27	28	29	30	31			

2006年9月							
	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	

【開館時間】 平 日 ____ 7月 9:00~19:00 19:00~22:00 (無人開館)

8~9月 9:00~17:00 17:00~22:00 (無人開館)

土日祝日 7月 9:00~19:00 (無人開館) 8~9月 9:00~17:00 (無人開館)

*8月14日(月)~16日(水)は、完全休館日となります。

*8月31日(木)は館内整理日のため、9:00~17:00閉館、17:00~22:00無人開館いたします。

秋田県立大学 図書館だより No.13 2006 年 7 月発行

秋田県立大学 図書・情報センター http://www.akita-pu.ac.jp/library/lib.html

●秋田キャンパス

●本荘キャンパス

〒010-0195

〒015-0055

秋田市下新城中野字街道端西 241-438

由利本荘市土谷字海老ノ口 84- 4 TEL0184-27-2049 FAX0184-27-2185

TEL018-872-1561 FAX018-872-1674 E-mail:a library@akita-pu.ac.jp

E-mail: h library@akita-pu.ac.jp

※ご意見・ご要望等をお寄せください。